

平成 28 年 度 学 校 評 価 実 施 報 告 書 (定 時 制)

県立神奈川総合産業高等学校

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月1日実施)	総合評価(3月24日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 教科指導においては、基礎基本を定着させることはもちろんのこと、「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る。</p> <p>② 「学びの場」としての定時制高校の意義を再確認させ、生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践する。</p>	<p>① 単位制システムを活用した多様な生徒のニーズに応える教育課程の充実を図る。</p> <p>② 生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践し、学習習慣の確立を図る。</p>	<p>① 必要に応じた集中講座の設置等、学校設定教科・科目の精選と履修指導の充実。</p> <p>② わかりやすい授業の実践から、生徒が主体的に参加する授業形態の工夫。</p>	<p>① 「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る学校教育の成果。</p> <p>② 生徒の授業への取り組み状況と定期試験の結果。</p>	<p>① 教科指導においては、基礎基本を定着させることはもちろんのこと、「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る。</p> <p>② 「学びの場」としての定時制高校の意義を再確認させ、生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践する。</p>	<p>① 単位制システムを活用した多様な生徒のニーズに応える教育課程の充実を図る。</p> <p>② 生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践し、学習習慣の確立を図る。</p>	<p>○ 成果が中心で、課題・改善方策が見えてこない。どの程度、達成できているのかわからない。</p> <p>○ 予習・復習はできているのか。その指導はどうしているか。</p> <p>○ 予習・復習、進路決定後の学習は保護者の指導も大事である。</p> <p>○ 選択科目が多く、教員の負担が大きいのでは。選択科目を精選し、内容の濃い授業にして欲しい。</p>	<p>○ 生徒にとって履修がよいものであったかどうかは、次年度アンケートなどを実施する。</p> <p>○ 単位制制度を検証しながら、選択科目の精選及び内容の充実に努める。</p> <p>○ 始業前授業などにより履修、単位認定など1年間に23単位取得でき、計画的に3年間での卒業を目指している生徒が多い。</p>	<p>○ 生徒にとって履修が良いものとなるかは生徒とのガイダンス、面談に尽きる。生徒の面談を十分にを行い、そのなかで履修指導や日ごろの学習状況等を含めた個々に応じた指導がより必要になる。</p> <p>○ 教員は授業改善に努める姿勢を持っている。生徒の興味関心をひき、達成感が得られる授業展開を実施していく</p>
2 生徒指導・支援	<p>① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、希望をもって学べる学校づくりを進める。</p> <p>② すべての教育活動を通して道徳教育を推進し、道徳的心情と道徳的判断力を育む。</p>	<p>② 充実した明るい学校生活を支援すると共に規範意識と社会的言語能力をしっかりと身に付けた自立した社会人を育成する。</p>	<p>② 教育相談体制とケース会議の充実を推進し、あいさつの励行および校内美化の取組みから、モラルやマナー意識向上を目指す。</p>	<p>② 生徒の状況把握を的確に行い、支援の必要な生徒に対し早期対応ができたか。</p>	<p>① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、希望をもって学べる学校づくりを進める。</p> <p>② すべての教育活動を通して道徳教育を推進し、道徳的心情と道徳的判断力を育む。</p>	<p>② 充実した明るい学校生活を支援すると共に規範意識と社会的言語能力をしっかりと身に付けた社会人を育成する。</p>	<p>○ いじめアンケートは記名式か。</p>	<p>○ 記名式であるが、無記名でもよいと明記している。また、相談したいことがある場合は出席番号を書くようにしている。</p>	<p>○ 校内いじめアンケートを年3回実施した。また、課題を抱える生徒は多く生徒との対話の中でも掌握に努めている。重要な案件はなく今後も定期的なアンケートを実施し安心安全な学校づくりに努める。</p>
3 進路指導・支援	<p>① キャリア教育の一環として、道徳教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向</p>	<p>① 生徒一人ひとりのキャリアの発達を目指し、それぞれの進路実現を支援する。</p>	<p>① いいなプロジェクト(就職活動サポート、シチズンシップ教育、道徳教育、交通安全サポート)の充実。</p>	<p>① 生徒の職業観の変容状況の把握と、各サポートへのアンケート結果から、希望する進路先への実現できたか。</p>	<p>① キャリア教育の一環として、道徳教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向</p>	<p>① 生徒一人ひとりのキャリアの発達を目指し、それぞれの進路実現を支援する。</p>	<p>○ キャリア教育により、生徒がどのように変わったかの検証はどうなっているか。</p> <p>○ 労働の基本的な法律について指導しているか。</p> <p>○ ブラックバイトで働いてしまったとき</p>	<p>○ ブラックバイトなどの労働についての指導はポスターの掲示や個別の相談に対応している。</p> <p>○ 1年次の産業社会と人間の授業で働き方について学ぶ。ハローワークの方の講演も行った。</p>	<p>○ 生徒は卒業して満足しているか。この学校に来てよかったのか。アンケートについて貴重な意見をいただいた。現在は在校生のみアンケートを行っているが、卒業生、卒業生の保護者にもアンケート</p>

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月1日実施)	総合評価(3月24日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
	けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。				けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。		に、しっかり断れる、辞める勇気を育てることも必要である。 ○ 相模原の企業への就職は少ない。地域の企業を知らないのではないか。	○ 就職先は相模原の企業は少ないが、自宅から通える企業を選んでいる生徒は多い。	を行うことは興味深く実施の方向で検討する。	
4	地域等との協働	① 家庭や地域の教育力の活用と関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力の向上を図る。	① 地域および学校間の連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	① 学校、家庭、地域が連携した教育活動の展開及び開かれた学校づくりと、学校説明会、ホームページ等を活用した学校広報活動の推進。	① 地域や外部機関との連携、活動状況やその成果。	① 家庭や地域の教育力の活用と関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力の向上を図る。	① 地域および学校間の連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	○ 防犯、防災、交通安全等、今後とも学校に協力していただきたい。	○ 防犯、防災、交通安全等、今後とも学校に協力していただきたい。	○ コミュニティスクール指定を受け今後は課題研究や部活動、インターシップなどで特色のある教育活動を推進していく予定である
5	学校管理 学校運営	① 学校防災力の向上を図り、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 ② 不祥事防止を徹底するとともに、教職員の課題解決能力を一層向上させる。	① 安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。	① 防災体制の整備と防災教育の徹底により、学校防災力の向上を図る。	① 防災教育学習会等と夜間停電対策の充実状況。	① 学校防災力の向上を図り、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 ② 不祥事防止を徹底するとともに、教職員の課題解決能力を一層向上させる。	① 安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。	○ 防災訓練等での身元確認のシステムはどうなっているのか。 ○ HPのリニューアルの検討はどのようなものを考えているか。	○ 選択科目も様々な年次が履修しているため、生徒の出欠が把握しづらい。授業の教科担当が確認するが、生徒の把握は難しい状況である。 ○ 出身中学校別で出欠確認している。地域が近いので避難場所の確認も行う。 ○ まち comi メールを開封したかを確認できるので、全生徒の登録を促す。 ○ 現在の HP は過去の事業が並び、見づらい状況である。管理も特定の教員が行っている。予算のこともあるが、外注も視野に入れている。ちなみに、全日制サポートの HP は外注で運用費は年間約5万円である。	○ 防災訓練で出欠確認を行っているが、その意識が生徒にどう伝わっているか。防災訓練の度に、生徒に出欠確認が大切だと話し、その訓練に努めていく。 ○ 予算のこともあるが、外注も視野に入れて充実を図る。ちなみに、全日制サポートの HP は外注で運用費は年間約5万円である。